

かほだより

30-4号
H30. 5. 16

長野県伊那家畜保健衛生所
TEL: 0265-72-2782, 090-5444-0970
Fax: 0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
所在地: 伊那市西町 5764
伊那諏訪家畜畜産物衛生指導協会
TEL&FAX: 0265-76-8086

公共牧場を利用しましょう



公共牧場で低コスト育成が可能です。



4か月間の公共牧場と自家育成のコスト（飼育費^{※1}・放牧料^{※2}）の比較

区 分		コスト(4か月間)	備 考
舎飼い	乳用牛育成(12~20か月齢)	85,608円	
	繁殖用和牛育成(16~24か月齢)	86,216円	
放 牧	管内A牧場(一例)	35,048円	種付け料等は含まず

※1:「家畜棚卸みなし評価表(平成29年12月;JA長野中央会)」を参考

※2:放牧料;1日あたり280円、入牧料:1,000円/頭として算出

放牧前の2~4週間程度は、徐々に昼夜にわたり運動場に放し、青草を食べさせる等、予備放牧をお願いします。

バルク乳細菌検査(酪農生産性向上対策事業)を実施します!

長野県では今年も生産者団体と協力して、年2回、バルク乳の細菌検査を実施します。

この検査は乳質改善のファーストステップとして、伝染性乳房炎原因菌の有無や搾乳衛生の状態を確認・評価するものです。

第一回を6月中・下旬に実施します。サンプル採取の日程は、あらためて通知しますので、ご協力をお願いします。

<1回目目の採材日程>

採材日	地域
6月11・12日	上伊那地域
6月18・19日	//
6月25・26日	諏訪地域

家畜人工授精師養成講習会(牛:家畜人工授精)が開催されます!

● 開催期間

① 学科[12日間]:平成30年8月20日(月)~9月4日(火)(土日休講)

② 実習[10日間]:平成30年9月5日(水)~9月19日(水)(土日・祝日休講)

● 開催場所 塩尻市片丘 10931-1 長野県畜産試験場(Tel:0263-52-1188)

● 申請期間 平成30年6月18日(月)~7月20日(金)

● 申請手続き 必要書類^{*}を県地域振興局農政課に提出してください。

※必要書類は①受講申請書・略歴書、②所属長等の推薦書

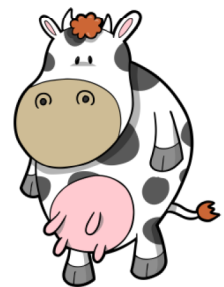
③受講及び修業試験免除申請書(該当者のみ)

● 受講料 50,000円

● その他 別途に「家畜人工授精講習会テキスト」の購入が必要です。

※詳しくは諏訪地域振興局農政課(Tel:0266-57-2913)

又は上伊那振興局農政課(Tel:0265-76-6813)にお問い合わせください。



お宅の牛舎、暑熱対策は十分にできていますか？！

暑熱ストレスのチェック法

以前、乳牛の適温は24℃程度と言われていましたが、最近では20℃くらいが一つの目安で、20℃以上になると呼吸数が増加するなど、牛の行動に変化が現れます。

● 呼吸数で確認する！

牛舎で数頭の牛をそれぞれ約30秒間観察⇒脇腹の動きで呼吸数をカウント⇒その数を2倍して1分あたりの呼吸数を算出⇒もし50回以上であれば暑熱ストレス下にあります。

● 温湿度指数(THI)を確認する！

牛の体感温度は、気温だけでなく湿度が大きく影響するため、温度と湿度から算出した温湿度指数(THI)を目安にします。THIが70を超えると暑熱ストレス下にあります。

牛舎内にヒートストレスメーター(右下)を設置すると暑熱対策開始の目安、暑熱対策成否の判断に活用できます(7千円程度)。

温湿度指数(THI)

$$THI = 0.8T + 0.01H(T - 14.3) + 46.3$$

T=温度(℃) H=相対湿度(%)

<71 : ストレスなし(ほぼ快適)

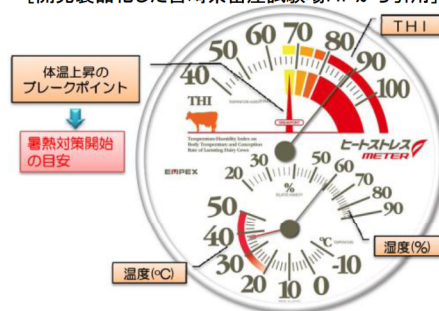
71~75 : 軽度のストレス

76~80 : 軽~中度のストレス

>81 : 重度(激しい)ストレス

ヒートストレスメーター

[開発製品化した宮崎県畜産試験場HPから引用]



暑熱対策のポイント

新鮮な水	暑熱時の飲水量 100~120ℓ、十分に供給できる施設 水槽やウォーターカップの掃除を励行
十分な換気	<p>強制換気システムでは「2m/秒程度」の送風が有効です。 $体感温度(℃) = 舍内温度(℃) - 6\sqrt{風速(m/秒)}$ (例) 舍内温度が33℃の時、牛に風速2m/秒の風を当てると、 体感温度は $33℃ - 6\sqrt{2} \approx 25℃$ となります。</p> <p>【換気扇台数の求め方(例)】 牛舎断面を幅10m×高さ3mとすると 断面積 30m²、必要とする風速 2.0m/秒(120m/分) 換気扇の換気能力 350 m²/分 $換気扇の必要台数 = (2.0m/秒 \times 30m^2 \times 60秒) \div 350 m^2/分 \approx 10台$</p>
・乾物摂取量の確保 ・ルーメンアシドーシスの予防 ・乳脂肪率低下防止	<ul style="list-style-type: none"> ・少量・多回給与、涼しい時間帯に給与 ・ロールサイレージ等の長物粗飼料は細断して給与 ・飼槽の清掃、こまめなエサ寄せ ・消化性の高い良質な粗飼料(ビートパルプ、アルファルファ等の利用) ・生粕類や加熱大豆等の不飽和脂肪酸を多く含む飼料の低減
サプリメントの給与	<ul style="list-style-type: none"> ・ビタミン剤を1~2割程度増給する(特にビタミンEは1000IU/kgDM以上) ・重曹 150~200g/日(重曹と塩を1:1に混合すると嗜好性アップ) ・ルーメン・バイパス油脂の添加
夜間のクーリング強化	<p>泌乳牛の体温は夕方から真夜中まで最も高く推移し翌朝にかけて低下するため、夜間の牛舎内 THI が生産性に大きく影響します。 夜間のクーリング強化(牛体への送風、散水など)は有効な対策です。</p>

環境測定器



家保では環境測定器で THI の変動や風速等の環境条件を測定し、牛舎環境の改善による乳牛の快適性を向上させる取組を実施しています。
 調査を希望される場合には、伊那家保(保健衛生課)までご連絡ください。